

九州支部 N P O 臨床トンネル工学研究所 新年講演会報告書

去る令和4年2月2日にオンラインにて新年講演会を開催しました。

1. 開催日時と場所

日 時：令和4年2月2日（水） 15:00～16:30

※オンライン（Zoom）による開催

2. 開催内容

15:00～15:10 開会挨拶：大和 敏郎（九州支部）

15:10～16:10 講演：松尾 勉（理事、（株）ケー・エフ・シー）

『切羽の崩壊挙動と切羽補強工の効果』

16:10～16:25 質疑応答

16:25～16:30 閉会挨拶：古賀 大陸（九州支部）

3. 開催目的

毎年恒例の九州支部の新年講演会は、トンネルに関する講師を九州支部にて依頼し、昨今の話題や振り返りも含めた講演を実施し、関係者の研鑽の場としてきました。また、講演後の懇親会では技術者の熱い議論の場でありましたが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により残念ながらオンラインによる開催となりました。

4. 結 果

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの感染拡大予防に配慮し、オンライン形式にて講演会を開催しました。例年は、九州支部委員を中心とした講演会でしたが、講演内容への関心が非常に高く、オンライン形式であったため、全国から62名の参加希望となりました。

講演者の松尾理事は、ゼネコンとメーカーを経験し、事例に基づく講演内容は参加者から非常に高い評価でした。講演会の情報は、ダイレクトメールの他、社内からの紹介が多く、今後も会員皆様のご協力を得ながら少しずつ認知度を上げて行きたいと考えております。

今後も開催形式、募集人数、開催時間を検討しながら、毎年開催できればと考えます。

今後ともご支援・ご協力の程、宜しくお願ひ致します。

■ 参加人数：52名

■ CPD申請者人数：13名

【参加者所見からの抜粋の紹介】

- ・切羽補強工により切羽前方の地山が補強されるメカニズムが非常に解りやすかった。
- ・鋼管の種類で付着力が大きく異なることは、今後の設計に反映できればと思う。
- ・切羽の崩壊挙動、切羽補強工の機能と効果、切羽の安定対策と支保の関係、切羽の崩壊挙動に関する解析手法と順序だてて説明頂き、非常に分かり易く講演頂いた。
- ・切羽崩壊の動画は、中々目にする機会はなく貴重な経験が出来た。
- ・鋼管、注入材の種類による付着力の数値を明確にしてほしい。
- ・若手技術者にとっても勉強になる内容でした。
- ・切羽補強工により、穿孔変位を抑制でき支保工に作用する負担が軽減できることを解析や実験を通じ説明されており、切羽補強工の効果に対して理解を深めることができた。
- ・切羽挙動と補強工の効果を複数の手法による解析で定量的に表されており、これまで定性的に何となく理解していたものが、明瞭に効果として視的に表現されてより一層理解が深まった。

(記録 九州支部 扇 裕次 (鹿島建設㈱))